

機関名： さいたまけんきょういくいんかい 埼玉県教育委員会
教育長名： 前島富雄
所在地： 埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-15-1
電話番号： 048-830-6947

I 埼玉県の概要

1 実践地域の現状と課題

近年、本県における児童の体力はやや向上傾向にあるものの、ピーク時との比較では、まだ停滞傾向にあるといえる。さらに運動をする児童とそうでない児童の二極化は一層深刻になっており、特に体育専科がない小学校における児童の体力、運動技能の向上は喫緊の課題である。そこで、専門的指導力を有する地域人材の活用により、技能向上、体力向上を目指す体育授業、運動教室の実施により運動好きな児童の育成を図っていきたい。

2 具体的な事業内容

- (1) 地域スポーツ人材のリストアップ
県内の関係教育大学、競技団体等との連携のもと、指導者リストを作成する。
- (2) 具体的な活用場面
小学校体育事業・運動教室での指導アシスタント
- (3) 地域人材促進委員会
関係教育関係大学及び各教育事務所担当指導主事との連携会議（年2回予定）

3 期待する効果

- (1) 小学生が専門的指導力を有する大学生などから、直接技能指導を受けることで、これまで以上に運動意欲が向上、さらなる体力向上が期待できる。
- (2) 大学生を活用する際には、学生が教育実習以外に学校で指導経験を得ることになり、この指導経験が、将来教員となって生かされることが期待できる。

II 活用事例及び今後の展望等

【本事業の成果の要点】

平成21年度は、派遣を希望する小学校が120校あり、その内88校へ合計94人のアシスタントを派遣した。平成22年度は、1校当たりの活動時間を1/2にすることで、派遣を希望する156校の内77校へ合計81人のアシスタントを派遣することとした。

派遣した各学校からは、「いつでも試技を見せてもらえるので、技に対する理解・呑み込みが速かった」「2人体制で指導できたことで、一人一人をじっくりと指導でき、授業中の安全確保につながった」「準備や後片付けの時間が短縮され、授業の効率化が図られた」等の声がたくさんあった。

また、多くの子どもが運動の楽しさやできる喜びを味わえるようになり、体育の授業時間以外での運動量も増えた。さらには地域人材の活用を通して学校と地域の連携がより深められた。

1 派遣の方法

- (1) 学校から推薦された方を県が派遣する。
地域における指導者を発掘し人材を活用するために、校長からの推薦を積極的に受け付ける。
- (2) 県が調整役となり、学生を中心に地域の方を派遣する。
事務局（埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に設置）は、学校からの申請に基づき、優れた地域の指導者の活用を図るため、競技団体、大学、地域スポーツクラブ等との連携協力により小学校体育指導アシスタント協力意向調査書及び応募票に基づき、県内の小学校へアシスタントを派遣する。
- (3) 事務局が選考した75校とする。

① アシスタント派遣希望校数

教育事務所	平成21年度 派遣希望校（派遣校）	平成22年度 派遣希望校
南部	49 (37)	56
西部	20 (15)	33
北部	16 (7)	15
東部	35 (29)	52
計	120 (88)	156

県内学校数 722校（さいたま市を除く）

② 平成22年度 アシスタント応募状況（人）

所属	応募者		学校推薦		計	
	H21	H22	H21	H22	H21	H22
文教大学	26	10	6	6	32	16
大東文化大学	9	8	1	3	10	11
埼玉大学	5	4	0	0	5	4
尚美学園大学	2	4	0	1	2	5
埼玉県立大学	8	2	0	0	8	2
早稲田大学	2	0	0	0	2	0
東洋大学	1	1	1	0	2	1
日本女子体育大学	0	0	0	1	0	1
玉川大学	0	0	0	1	0	1
東京工業大学	1	0	0	1	1	1
淑徳大学	0	0	0	1	0	1
帝京平成大学	0	0	0	1	0	1
東京学芸大学	0	1	0	0	0	1
中央大学	0	1	0	0	0	1
平成国際大学	2	0	0	0	2	0
その他の大学	0	0	11	1	11	1
スポーツ団体	1	0	0	0	1	0
一般	1	1	22	21	23	22
合計	58	32	41	37	99	69

2 活動内容

- (1) 体育授業での実技指導補助
 - ① 授業の準備や後片付けの補助を行うことで、授業の効率化が図られる。
 - ② 個別対応、グループ指導の場面でも、細部に行き届いた授業が可能になる。
 - ③ 具体的な実技指導で、児童の意欲や技能の向上も期待できる。
- (2) クラブ活動での指導補助
- (3) スポーツ教室等の指導補助
 - ① 放課後の運動教室（陸上・サッカー等）の指導補助
 - ② 長期休業中に実施する運動教室（夏休み水泳教室等）の指導補助
- (4) 体育的行事の指導補助
 - ① 運動会や地区大会の事前練習の指導補助

- ② 体力向上のために、学校独自の取組による教室の指導補助

3 今後の展望

(1) 平成22年度 アシスタント派遣状況（校）

教育事務所	派遣希望校	派遣校	不採用校
南部	56	37	19
西部	33	16	17
北部	15	5	10
東部	52	19	33
計	156	77	79

(2) 平成21年度との比較（校）

教育事務所	21年度派遣校	22年度派遣校	比較
南部	37	37	0
西部	15	16	1
北部	7	5	△2
東部	29	19	△10
計	88	77	△11

(3) 来年度に向けて

県内各小学校の本事業への期待は大きい。今後もアシスタント派遣を希望する学校は増加すると思われる。児童の体力向上はもとより、運動好きな子どもを育成するために、現場の要望に応えられるように本事業の継続・発展に努めたい。